



平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月11日

上場取引所 東

上場会社名 コーセル株式会社

コード番号 6905 URL <http://www.cosel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷川 正人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 小西 有吉

四半期報告書提出予定日 平成25年12月27日

配当支払開始予定日

TEL 076-432-8151

平成26年2月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年5月21日～平成25年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	10,419	16.8	1,915	45.4	1,981	40.0	1,214	54.2
25年5月期第2四半期	8,920	△15.0	1,317	△35.4	1,415	△34.1	787	△38.4

(注)包括利益 26年5月期第2四半期 1,221百万円 (60.7%) 25年5月期第2四半期 760百万円 (△33.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	31.39	—
25年5月期第2四半期	20.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第2四半期	39,137	36,139	92.3	934.23
25年5月期	38,017	35,305	92.9	912.66

(参考)自己資本 26年5月期第2四半期 36,135百万円 25年5月期 35,301百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年5月期	—	12.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	11.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成25年12月11日)公表いたしました「剰余金の配当(第2四半期末配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年5月21日～平成26年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,750	12.4	3,510	44.1	3,650	38.0	2,280	50.7	58.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年5月期2Q	39,012,000 株	25年5月期	39,012,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年5月期2Q	332,617 株	25年5月期	332,532 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年5月期2Q	38,679,395 株	25年5月期2Q	38,733,630 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結結果期間におけるわが国経済は、日銀による金融政策とともに政府の経済政策への期待感等から、円安・株高が進行し、企業収益は改善の方向に向かい始めたものの、实体经济の回復までには至らない状況で推移いたしました。また、債務危機問題の長期化によるヨーロッパ経済停滞の状況については、ドイツが景気回復の牽引役となるものの、貿易不均衡の状況から、先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

当社グループが属するスイッチング電源の国内市場におきましては、震災以降の電力供給不安から太陽光・風力発電などの自然エネルギーや再生エネルギーの活用等、エネルギー効率運用のためのマネジメントシステムなど、省電力化を狙いとする動きが一段と加速してまいりました。

海外市場におきましては、米国経済が緩やかに回復しつつも、ヨーロッパ債務危機問題の長期化によるヨーロッパ経済の停滞が長期化し、総じて先行きの不透明感を払拭できないまま推移いたしました。

このような情勢の中で当社グループは、部門連携を強化しつつ、新製品を軸とした成長業界・企業への提案活動に注力してまいりました。

新製品につきましては、汎用一般産業機器向けミドルレンジユニット電源「PLAシリーズ」の拡充品「PLA100W/150W」、大電力・高効率パワーモジュール電源（安定化バスコンバータ）「CHS300」、世界市場向けインチ規格3×5インチ外形AC-DC電源「GHAシリーズ」、AC-DC電源「SNTUシリーズ」、1Uラック搭載可能高効率AC-DC電源「FETAシリーズ」を市場投入いたしました。

開発・生産面では、TQM（総合的品質管理）活動を継続展開し、部品不良および工程内不良の低減に注力するとともに、顧客ニーズを捉えた高付加価値製品・サービスの実現に向けた活動を進めてまいりました。また、使用電力削減活動の推進、CO₂（二酸化炭素）削減等の環境問題にも引き続き取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結結果期間の業績につきましては、受注高は105億46百万円（前年同期比22.4%増）、売上高は104億19百万円（同16.8%増）となり、経常利益は19億81百万円（同40.0%増）、四半期純利益は12億14百万円（同54.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本生産販売事業

日本国内では、タブレットPC、スマートフォン等の普及にともなう通信インフラ向けの需要が増加するとともに、省エネルギー機器、医療機器向けの需要が堅調に推移いたしました。

このような情勢の中、成長業界・企業へのデザイン・イン活動の強化と新製品の拡販活動に注力するとともに、新規顧客の開拓、重点顧客の深堀活動に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、79億85百万円（前年同期比12.4%増）、セグメント利益は18億53百万円（同42.8%増）となりました。

②北米販売事業

アメリカでは、景気指標の改善やNYダウ平均株価が過去最高を更新するなど、景況感は回復傾向にあります。設備投資の動きはいまだ鈍化したままであり、総じて足踏み状態となりました。

このような情勢の中、昨年度に引き続き、新規プロジェクト獲得件数の増加と新規顧客獲得を重点に営業活動を展開し、新製品拡販と新規顧客開拓に注力した効果も一部現れましたが、主要先の受注が低迷したことから、受注高（外貨ベース）は前年同期比で減少いたしました。

この結果、外部顧客への売上高は、9億71百万円（前年同期比20.7%増）、セグメント利益は34百万円（前年同期比550.2%増）となりました。

③ヨーロッパ販売事業

ヨーロッパでは、昨年4月以降のギリシャを発端とした債務危機問題の長期化による景気先行き不透明感から企業景況が冷え込む中、牽引役であるドイツでも先行き不透明感が台頭し景気低迷が予想以上に長引いており、制御機器関連やコンピュータ機器、計測機器関連等の需要が低迷し、受注高（外貨ベース）は前年同期比で減少いたしました。

このような情勢の中、ヨーロッパ市場における販売ネットワークの整備に取り組み、新製品拡販と新規顧客開拓に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、3億84百万円（前年同期比13.4%増）、セグメント損失は7百万円（前年同期はセグメント損失4百万円）となりました。

④アジア販売事業

中国では、ヨーロッパ経済低迷等の影響から経済成長が鈍化しておりますが、内需関連の健闘、輸出関連プロジェクトの一部回復もあり、全体的に好調に推移いたしました。また、韓国でも半導体設備関連の需要が回復傾向にあり、明るさが見えてまいりました。アセアン地域においては、依然としてヨーロッパ経済低迷等の影響がありますが、全般的に堅調に推移しました。

このような情勢の中、現地営業マン・技術者の育成に取り組むとともに、中国、韓国、インドで新規顧客・プロジェクトの獲得活動や新製品拡販活動の効果が現れ、受注高は前年同期比で増加いたしました。

この結果、外部顧客への売上高は、10億77百万円（前年同期比61.0%増）、セグメント利益は55百万円（前年同期比111.1%増）となりました。

⑤中国生産事業

新興国市場をターゲットにしたミドルレンジ電源の中国生産においては、低コスト化技術の開発と生産体制の構築を推し進めてまいりました。新製品P L A 1 0 0 F / 1 5 0 Fの生産・販売も開始し拡販活動にも努めてまいりました。

この結果、セグメント間の内部売上高は、1億31百万円（前年同期比348.2%増）、セグメント損失は24百万円（前年同期は、セグメント損失17百万円）となりました。

なお、参考までに記載すると事業部門別の業績は、次のとおりであります。

1) 受注高及び受注残高

事業部門	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月21日 至 平成25年11月20日)		当第2四半期連結会計期間末 (平成25年11月20日)	
	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
ユニット電源	6,805	15.3	1,156	15.5
オンボード電源	3,454	38.9	813	51.7
ノイズフィルタ	286	25.9	36	37.1
合計	10,546	22.4	2,007	28.3

2) 売上高

事業部門	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月21日 至 平成25年11月20日)	
	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)
ユニット電源	6,753	10.8
オンボード電源	3,386	30.5
ノイズフィルタ	279	22.2
合計	10,419	16.8

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ11億19百万円(2.9%)増加し、391億37百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末比33億6百万円(20.1%)増加しました。これは、現金及び預金が3億86百万円(20.1%)、受取手形及び売掛金が10億72百万円(18.7%)、有価証券が16億98百万円(26.1%)、たな卸資産が1億11百万円(6.0%)それぞれ増加したことが主因であります。

固定資産は、前連結会計年度末比21億87百万円(10.1%)減少しました。これは、投資有価証券が21億73百万円(12.3%)減少したことが主因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ2億84百万円(10.5%)増加し、29億97百万円となりました。これは、買掛金が1億65百万円(20.3%)、未払法人税等が1億54百万円(26.4%)それぞれ増加したことが主因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ8億34百万円(2.4%)増加し、361億39百万円となりました。株主資本は、剰余金の配当3億86百万円がありましたが、四半期純利益の計上により前連結会計年度末比8億27百万円(2.3%)増加しました。また、その他包括利益累計額は、株式の時価評価差額の減少や為替換算調整により前連結会計年度末比7百万円増加しました。この結果、自己資本比率は92.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3億85百万円(6.7%)増加し、61億13百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。
(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6億41百万円(前年同期比67.0%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益19億74百万円(同51.9%増)に加え、減価償却費3億21百万円(同4.6%減)等を計上した一方で、売上債権増加額10億62百万円(同513.7%増)、法人税等の支払額5億80百万円(前年同期は36百万円)があったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は1億6百万円(前年同期は11億31百万円の使用)となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入4億円(同87.5%減)がありましたが、投資有価証券の取得による支出0百万円(前年同期は41億5百万円)、有形固定資産の取得による支出2億96百万円(同33.6%増)があったことを反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億87百万円(同16.0%減)となりました。これは主に、配当金の支払額3億86百万円(同24.4%増)、自己株式の取得による支出0百万円(前年同期は1億49百万円)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、平成25年6月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当第2四半期連結累計期間の業績結果を踏まえ、第2四半期末配当につきましては、平成25年6月12日に公表いたしました1株当たり11円に対し、予想比1円増の12円といたします。

具体的な内容につきましては、本日(平成25年12月11日)公表の「剰余金の配当(第2四半期末配当)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,921,003	2,307,741
受取手形及び売掛金	5,726,417	6,798,989
有価証券	6,508,021	8,206,194
商品及び製品	682,456	610,131
仕掛品	46,835	51,385
原材料及び貯蔵品	1,128,640	1,307,439
繰延税金資産	246,027	253,735
その他	172,875	203,626
貸倒引当金	△6,023	△6,107
流動資産合計	16,426,254	19,733,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,544,646	3,549,919
減価償却累計額	△2,328,186	△2,381,055
建物及び構築物（純額）	1,216,460	1,168,863
機械装置及び運搬具	5,091,820	5,022,799
減価償却累計額	△4,182,960	△4,172,500
機械装置及び運搬具（純額）	908,859	850,299
工具、器具及び備品	4,896,232	5,103,366
減価償却累計額	△4,590,913	△4,685,903
工具、器具及び備品（純額）	305,319	417,462
土地	1,118,800	1,119,440
建設仮勘定	9,237	—
有形固定資産合計	3,558,677	3,556,066
無形固定資産	87,711	74,611
投資その他の資産		
投資有価証券	17,724,091	15,550,695
繰延税金資産	174,879	179,741
その他	46,294	43,076
投資その他の資産合計	17,945,265	15,773,513
固定資産合計	21,591,654	19,404,191
資産合計	38,017,909	39,137,327

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	815,662	981,407
未払金	146,894	172,602
未払法人税等	585,374	739,841
賞与引当金	330,444	328,762
その他	361,926	361,304
流動負債合計	2,240,303	2,583,917
固定負債		
退職給付引当金	266,850	207,775
繰延税金負債	97	—
その他	205,578	205,640
固定負債合計	472,526	413,415
負債合計	2,712,829	2,997,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,055,000	2,055,000
資本剰余金	2,288,350	2,288,350
利益剰余金	31,170,848	31,998,212
自己株式	△283,620	△283,724
株主資本合計	35,230,578	36,057,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213,273	169,033
為替換算調整勘定	△142,785	△91,312
その他の包括利益累計額合計	70,487	77,721
少数株主持分	4,013	4,435
純資産合計	35,305,079	36,139,994
負債純資産合計	38,017,909	39,137,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月21日 至 平成24年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月21日 至 平成25年11月20日)
売上高	8,920,024	10,419,397
売上原価	6,317,038	6,946,649
売上総利益	2,602,986	3,472,747
販売費及び一般管理費	1,285,348	1,556,860
営業利益	1,317,637	1,915,887
営業外収益		
受取利息	69,012	61,806
受取配当金	12,059	13,829
為替差益	9,773	—
受取補償金	874	12,699
その他	8,875	9,540
営業外収益合計	100,595	97,874
営業外費用		
為替差損	—	32,172
自己株式取得費用	2,644	—
その他	2	111
営業外費用合計	2,647	32,284
経常利益	1,415,585	1,981,477
特別利益		
固定資産売却益	50	199
特別利益合計	50	199
特別損失		
固定資産売却損	283	628
固定資産除却損	3,582	6,886
投資有価証券評価損	111,975	—
特別損失合計	115,841	7,514
税金等調整前四半期純利益	1,299,793	1,974,162
法人税、住民税及び事業税	581,483	748,061
法人税等調整額	△68,681	11,613
法人税等合計	512,802	759,674
少数株主損益調整前四半期純利益	786,991	1,214,488
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△424	329
四半期純利益	787,416	1,214,159

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月21日 至 平成24年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月21日 至 平成25年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	786,991	1,214,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,221	△44,239
為替換算調整勘定	△50,683	51,565
その他の包括利益合計	△26,461	7,326
四半期包括利益	760,529	1,221,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	761,008	1,221,392
少数株主に係る四半期包括利益	△479	421

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月21日 至 平成24年11月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月21日 至 平成25年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,299,793	1,974,162
減価償却費	337,020	321,472
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△14,456	△59,086
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△208,000	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,533	△1,682
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,280	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	631	△25
受取利息及び受取配当金	△81,071	△75,635
為替差損益(△は益)	343	5,152
有形固定資産売却損益(△は益)	232	428
有形固定資産除却損	3,582	6,886
投資有価証券評価損益(△は益)	111,975	—
売上債権の増減額(△は増加)	△173,216	△1,062,997
たな卸資産の増減額(△は増加)	274,094	△104,720
仕入債務の増減額(△は減少)	84,864	165,330
その他	243,580	△30,973
小計	1,878,629	1,138,311
利息及び配当金の受取額	100,791	83,783
法人税等の支払額	△36,642	△580,833
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,942,778	641,261
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△221,582	△296,072
有形固定資産の売却による収入	604	1,962
投資有価証券の取得による支出	△4,105,733	△382
投資有価証券の償還による収入	3,200,000	400,000
その他	△5,220	673
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,131,932	106,179
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△149,976	△104
配当金の支払額	△310,939	△386,898
財務活動によるキャッシュ・フロー	△460,915	△387,002
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34,893	25,357
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	315,037	385,795
現金及び現金同等物の期首残高	6,167,987	5,727,305
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,483,025	6,113,101

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年5月21日 至 平成24年11月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,106,570	804,938	339,327	669,187	—	8,920,024	—	8,920,024
セグメント間の内部売上高	1,460,141	—	—	—	29,295	1,489,436	△1,489,436	—
計	8,566,711	804,938	339,327	669,187	29,295	10,409,461	△1,489,436	8,920,024
セグメント利益又は損失(△)	1,298,144	5,283	△4,241	26,087	△17,238	1,308,035	9,601	1,317,637

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額9,601千円は、セグメント間の取引消去14,610千円及び棚卸資産の未実現損益の消去△5,009千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失(△)の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年5月21日 至 平成25年11月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,985,629	971,222	384,905	1,077,639	—	10,419,397	—	10,419,397
セグメント間の内部売上高	1,852,820	—	—	—	131,296	1,984,116	△1,984,116	—
計	9,838,449	971,222	384,905	1,077,639	131,296	12,403,513	△1,984,116	10,419,397
セグメント利益又は損失(△)	1,853,593	34,354	△7,220	55,072	△24,854	1,910,945	4,941	1,915,887

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額4,941千円は、セグメント間の取引消去8,321千円及び棚卸資産の未実現損益の消去△3,379千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失(△)の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。